

くまのもりお通信



食文化かなざわ大会2015

Vol.03

2016.Mar

TOPICS

「会派みどり」から会派「創生かなざわ」へ

これまで一人会派として活動してきましたが、玉野道議員、宮崎雅人議員と共に「創生かなざわ」を結成しました。結成にあたり、金沢市政に関して市民目線にたった是非々の態度で臨むこと、行政に対してチェック機能を果たす二元代表制の基本を常に忘れないことを申し合わせました。



近江町市場にて

皆様からのご意見、心よりお待ちしております。

✉ info@kumanomorio.com

くまのもりお事務所 ☎ 076-256-3757
金沢市みどり2-6-2 FAX.076-256-3836

金沢市役所〈創生かなざわ〉 ☎ 076-220-2448
金沢市広坂1-1-1 FAX.076-223-0116

ホームページも随時更新しています→ <http://kumanomorio.com>



発行／金沢市議會議員 熊野盛夫 〈自宅〉金沢市松村7丁目36-13

お世話になっております。新人金沢市議の熊野盛夫です。新人と言っても既に一年が経とうとしています。おかげさまで一年間すべての議会で質問の機会をいただきました。

現在、金沢市政で市民の皆様の関心が高いのは“家庭用ゴミ袋の有料化”です。紙資源のリサイクル化が全国一位の横須賀市に習って報奨金を現在の2円から4円にすることを市議会で提案したり、市民への理解を深めるためにさらなる説明会の開催を訴えてきました。

報奨金に関しては、積極的に検討いただいておりますが、市民に対するさらなる説明会は求められないかぎり開かないという上から目線の答弁でした。

しかし金沢市廃棄物総合対策審議会の答申を受けて、ようやく金沢市も丁寧な説明会の開催に踏み切る方針に転換しました。

今年度は有料化は見送られましたが、説明会を踏まえて金沢市は有料化を推進する方向です。最終的には各町会単位での説明会が行われると思われます。

皆様の声をしっかり金沢市へ伝えましょう。直接、市に伝え辛かったり聞きにくい方はわたくし熊野にお伝え下さい。

食文化かなざわ大会2015



平成25年9月議会で「金沢の食文化の継承及び振興に関する条例」が制定されました。

目的は、藩政時代から培われ、市民の食習慣として生活に深く溶け込み、特有の発展を続けてきた金沢の食文化の継承及び振興について、市民、事業者及び市の役割を明らかにするとともに、金沢の食文化の継承及び振興を図るための事項を定めることにより、金沢の食文化の持続的な発展に寄与することです。

金沢市議会では、条例制定後、宮崎雅人議員が中心になって実行委員会を立ち上げ「食文化かなざわ大会」を開催しています。私も、実行委員のひとりとして「2015」の大会から協力参加させていただいております。香箱解禁後の11月11日に毎年開催することを決めています。「2016」も開催致します。ご興味御座います方は、是非ご連絡下さい。

3月議会での質問

3月議会では、6月議会（2015年）でも質問した金沢マラソンの障がい者の表彰枠の設置を促す質問と、学校給食について質問をしました。

金沢マラソンの障がい者表彰枠については、表彰枠をつくることには前向きでしたが、体制が整うまでもう少し待つて欲しいという答弁をいただきました。

また、学校給食については、以前視察で訪れた南房総市（千葉県）の地産地消の完全和食化の取り組みが、農家さんや子ども達からは高評価であり肥満度も減少。さらに、給食費だけで賄えない部分は地方創生の予算から捻出し、地方創生の予算が切れても市は続けていくと伺い感銘を受けました。そして、世界的に問題になっているトランス脂肪酸*使用の観点からも金沢市での考え方を質問しましたが、残念ながら十分な答弁はいただけませんでした。この学校給食については、引き続き様々な観点から質問していきたいと思っております。

*トランス脂肪酸 マーガリン、食パン(ショートニングとして)に含まれる。全米では、健康のため2018年トランス脂肪酸の全面使用禁止が決まっている。

いしかわ若手議員の会

石川県内の地方議員の若手でつくる「いしかわ若手議員の会」に昨年より入会しております。若手議員との交流は、各自治体間の問題の違いや共通する議会内の問題など勉強する良い機会になり、取り組む姿勢は励みになります。

2月11日には輪島市にて「ダディーズの会」と共同で、若者を対象にした輪島市長選の模擬選挙を行いました（右新聞記事参照）。



北陸中日新聞2月11日朝刊

んは投票のやり方は話た。思ったより簡単。本書は大田代表(左)は「きょうも選挙も輪島で生活したので、だいたいを解して、投票の準備(右)と呼び掛けを持って人に投票したとた。

この一年間で、市議会で論議されているもので如何かな、とはなはだ疑問に思うものは市役所の第2庁舎の建設です。当初65億円の試算が示されました。その後、64億円に見直されましたが、見直しに際し、議場と議員フロアのスペースのみ縮小されていませんでした。(このことになんで議会棟と指摘される声もあります)

これまで3回続けて議会で質問を繰り返しました。

まず、現在の庁舎の耐震改修工事が平成25、26年に終了している観点から。(議場、議員フロアの6,7階は概算で割っても4億5千万円かかっています)

次に、金沢市が石川中枢都市圏宣言をして、白山市、野々市市、内灘町、かほく市、津幡町と連携し、中枢都市圏の中心的存在として行政機能を発揮しようとする今、はたして、宣言以前からの構想の第2庁舎のままではよいのか、場所等も含めて再度議論が必要では、という観点から。

最後に、第2庁舎内に設置される危機管理センターについて。東日本大震災を経験した石巻日日新聞さんに視察に伺い、市内全域で全市民が参加する防災をテーマにした「協働のまちづくり」ミーティングを開催し、各地域から出された要望に従って予算化した東松島市が早い復興を

成し遂げた話をもとに、情報を集約する危機管理センターに予算を割くことよりも、災害を自分事、自分の町ごと、として自覚を促すことに予算を割くべきでは、と質問をしました。(災害状況や情報の発信する仕組みがしっかり整ってなければ立派な危機管理センターも機能が発揮できません)



会派みどり 熊野 盛夫 議員

金沢市民芸術村のディレクター制度について

問 国のグッドデザイン大賞を受賞した金沢市民芸術村の運営スタイルであるディレクター制度は当市の誇るべきものだが、開村から20年近く各工房のディレクターたちをまとめる総合ディレクターが変わっていないのは問題ではないか。

答 総合ディレクターは芸術文化の識見はもとより、公平、公正で、開村の精神への理解など、それにふさわしい方に委嘱しており、支えてもらっていると感謝している。(市長)

第2庁舎建設と石川中央都市圏の整合性について

問 連携中枢都市圏の計画を出せば国が予算化するという流れは、平成の大合併を彷彿とさせる。金沢市もいざそうなるかもしれないということ踏まえた市政のあり取りが必要で、それにも対応する庁舎機能や庁舎の場所など再議論が必要ではないか。今、試算65億円で建設するのは性急で、耐震化工事を終えたばかりの現庁舎をまだ使うべきではないか。

答 石川中央都市圏の実務者会議、首長会議で合併の議論はなく、私も考えてもいない。第2庁舎だが、南分室等の老朽化が進んでおり、建てかえて機能を集中させたい。手順を踏んで丁寧に説明を重ねながら進めていく。(市長)

【質問事項】(一括質問方式)

- 1 金沢マラソンについて
- 2 金沢市民芸術村について
- 3 ふるさと納税について
- 4 東京オリンピック・パラリンピックのポジティブ・レガシーについて
- 5 家庭ごみ有料化について
- 6 第2庁舎建設と石川中央都市圏について

平成27年度金沢市議会6月定例会質問

建設費65億円? 金沢市役所南に

金沢市が、市役所本庁舎(同市広坂)から南に約100m離れた南分室(同市柿木島)を建て替え、第2庁舎を建設する計画に、市議会内から疑問の声が出ている。新庁舎には市議会が移転、事実上の「議会棟」となり、建設費が約65億円かかるためだ。開会中の9月定例会では建設費だけでなく、議会移転自体を疑問視する声もある。(清水俊介)

第2庁舎計画疑問の声



「六十五億円は金沢市の一般会計の三分の一。新国立競技場の整備は国の一般会計の六十分の一にすぎない」。十日の市議会(朝野金沢)で玉野道氏(清風金沢)が、高層建設に批判が集まっている。同日の市議会で「六十五億円もかけるので、高層建設に批判が集まっている」と述べた。玉野氏は「六十五億円もかけるので、高層建設に批判が集まっている」と述べた。玉野氏は「六十五億円もかけるので、高層建設に批判が集まっている」と述べた。



金沢市役所第2庁舎 市が今年2月にまともな本庁舎の再設計を基本計画で、1960年築の前庁舎が不十分な別分室を建て替えて、第2庁舎を新設する。中核市平均を下回る議員の職務の削減を断念し、建設は市役所再編で本庁舎と第2庁舎に集約する。敷地は約7300平方メートル、地上3階、地下2階。市議会のほか、危機管理センター、外郭団体などが入る。完成は2019年度の予定。

「市民が納得する説明が必要」

に基本設計の案を募集した際、担当者は「六十五億円は築が現実的な設計をするためを示したもので、あくまで概算。今後、変化する」と説明する。批判の矛先は議会移転のタイミングにも向けられていた。市は「二〇二二年度から一四年度に約三十億円をかけて本庁舎の耐震補強工事はした。広田英代氏(共産)は「議会は耐震化しただけで、第2庁舎は危機管理センター(必要最小限の建物)にとどめるべき」と述べた。市議会特別委は十四日、「伝統工芸を顕彰に使用」「金沢市産材の使用に配慮」「連絡通路は最奥面から地下道とする」などの要望を山野之義市長に提出する。要望には「建設費用の軽減」も盛り込まれている。

北陸中日新聞 平成27年9月13日朝刊

卒業入学の季節になり、郊外の学校では児童生徒数が増え、中心部の学校では逆に減っていく傾向がますます顕著です。子どもは国の未来の宝です。放課後児童クラブ等も含め、市内各所の快適な学習環境の維持のために優先的に予算を割くべきであって、第2庁舎については慎重な議論が必要です。この観点から、次回議会でも質問してまいります。皆様のご意見をお寄せ下さい。

これからの時代は石巻市役所、豊島区役所で採用されたり、横浜市で進められている共創推進室ではありませんが、公民連携で公の施設をつくっていかなくては財政破綻は目に見えています。市役所職員の執務スペースの拡充や会議室の確保も大切ですが、この点を踏まえる重要性を訴えてまいります。

第2庁舎「必要」
本会議では、市役所第2庁舎の整備(玉野、熊野両氏が計画の見直しを求めた。山野市長は「自治体としての機能を維持するに必要」とし、執行部の充実に災害対策機能を強化する観点から、第2庁舎の重要性を踏まえ、市民への説明が足りないとの指摘には、基本計画を議論した庁舎整備再編検討懇話会で、町会連合

市長、見直し要求で
会や校下婦人会連合協議会の代表者らと意見を交わしたと強調。市議会が第2庁舎再建設特別委員会を設置している点にも触れ、「市民の代表である議会の皆さんとも相談する」と述べた。
第2庁舎は、老朽化で耐震性が不足する南分室を建て替えて整備される。敷地面積約7300平方メートルに建設し、市議会や危機管理センター、行政委員会、外郭団体などを配置する。
第1庁舎再建設特別委の高村佳伸委員長、中西利雄委員長は11日、第2庁舎の建物や機能に関する議会としての要望項目を福田太郎議長に報告した。14日に山野市長へ要望書を提出する。

市は建設費の概算を約65億円としているが、延べ床面積に基づく単純計算であり、基本設計を通じて詳細を検討する。議会要望を報告

北國新聞 平成27年9月12日朝刊